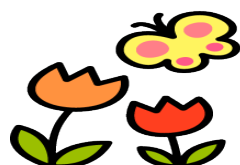


進路だより

第2号

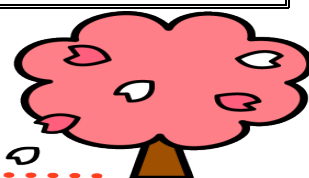
R. 4. 4. 15

川口市立岸川中学校



進路を切り拓いていくために

(受験生としてやるべきこと)



①いち早く目標を設定する

先日、進路に関するアンケートを実施しました。現時点での志望校を聞いたところ約5割の人たちが「まだ決まっていない」ということが分かりました。これから受験本番までは苦しい時期が続くと思います。そのためモチベーションを維持することが大切になってきます。モチベーション維持のためには目標を作ることが大切です。なんとなく勉強するのではなく、「絶対ここに行きたい!」という気持ちを持って勉強した方が長い受験勉強期間を乗り越えられるのではないのでしょうか。

②積極的に情報収集を行う

目標校を設定する際、大切になるのが各高等学校の情報収集です。例えば、高校で野球を頑張り甲子園に出場したいと思っている人は、野球部がある高校、実績のある監督がいる高校、設備が整っている高校などに進学したいと思うはずです。何に重きを置いて高校選択をするのかは十人十色です。まずは自分が何を高校に求めるのかを明確にしましょう。

また、高校を調べる方法としては①HP②説明会への参加③先輩からの話④高校案内などの本⑤行事の見学などがあります。実際に自分の目で見る方がいいと思いますが、コロナウィルスの影響により説明会で人数制限を設けている学校が非常に多いです。また昨年度は夏以降の説明会や行事への参加が中止になった高校も多かったです。常にアンテナを高く持ち、夏休みが終わるまでには最低3校は学校見学に行けてると良いと思います。

孫子の『兵法』に「己を知り、敵を知れば百戦あやうからず」という言葉があるように、自分の適性を見極め、目指す高校・進路の情報をしっかり集めましょう。

③学習・学校生活に積極的に取り組む

①②のように目標を決め、情報収集を行っても当たり前ですが勉強しなかったら合格するはずがありません。進路に関するアンケートで「どのように勉強したらいいかわからない。」と悩んでいる人が非常に多かったです。そこで君たちにやってほしいことは、夏までに既習範囲の基礎基本を完璧にすることです。英単語が分からなければ長文は読めません。地図記号が分からなければ地形図は読み取れません。夏までに基礎を定着させて秋～冬で応用問題&過去問を解けるといいでしょう。

また給食・清掃・部活動など日常生活をしっかりと送ることも大切でしょう。日常生活は受験勉強への姿勢に直結するものだと思います。また生徒会活動、部活動の記録、ボランティアなどの自主的な活動、検定などの記録(学校内外での頑張り)は調査書に反映されます。

裏面でアンケートでの複数質問があった内容にお答えします。

Q 今の成績で行きたい高校の推薦がもらえるかどうか知りたい。

A 推薦ということは私立高校を志望しているのでしょうか。私立高校では個別相談といって、北辰試験や学校の成績表を持っていき合格の可能性について教えてもらえるという制度があります。高校のHPやパンフレットなどをチェックして申し込んでみましょう。

Q 調査書点の加点の調べ方を知りたい。

A 埼玉県教育委員会のHPに「各高等学校の選抜基準」として掲載されます。(昨年度は9月28日に訂正版がアップされています。) 調査書点とは学習の記録+特別活動の記録+その他の項目の合計点のことです。

下の川口市立高等学校の場合は調査書点が270点あり、それを第1次選抜では335点換算して選抜していることがわかります。またその他の項目の得点では英検、漢検、数検は準2級以上でないと加点されないなどのことがわかります。(学校によっては3級から加点するところなど様々です。) 昨年度のものは今でも見られるので興味のある人は一度見てみてはどうでしょうか。

全日制 川口市立高等学校 (普通科)		令和4年度入学選抜	
選抜の基本方針			
(1) 学力検査を重視した選抜を行う。			
(2) 調査書については、学習の記録だけでなく、特別活動等の記録、その他の項目において項目毎に総合的によく取り組んだ者の選抜に配慮する。			
(3) 受験生の能力をより適正に測るため、数学及び英語の学力検査において学校選択問題を実施する。			
選抜資料			
○学力検査の扱い	 [500点]		
○調査書の扱い	学習の記録の得点 (1:1:2)	 [180点]	} [270点]
	特別活動等の記録の得点	 [60点]	
	その他の項目の得点	 [30点]	
○その他の資料	なし		
一般募集			
●第1次選抜 (60%を入学許可候補者とする)			
(各資料の配点)			
①学力検査	②調査書	③その他	④合計
500点	335点	実施しない	835点
●第2次選抜 (40%を入学許可候補者とする)			
(各資料の配点)			
①学力検査	②調査書	③その他	④合計
500点	215点	実施しない	715点
調査書の扱いの詳細			
【特別活動等の記録の得点 (60点)】			
○生徒会活動等			
・生徒会長、生徒会副会長、生徒会本部役員、各種委員会委員長、学級委員長及びその他評価できるもの			
○部活動等 (調査書の「Bその他」欄に記載された活動のうち、運動部・文化部に準じて評価できるものを含む)			
・部長などに得点を与える。			
・以下について、大会規模 (主催者・種目・部門・記録等) により、得点を与える。			
ただし、団体種目の場合には、登録メンバー (ベンチ入り等) のみ、得点を与える。			
運動部：全国大会、関東大会、県大会等への出場及びその成績、選拔選手、その他評価できるもの			
文化部：全国大会、関東大会、県大会等への出場・出演及びその成績、その他評価できるもの			
・本校に存する部活動と同内容の活動の成果について、さらに加点する。			
【その他の項目の得点 (30点)】			
○資格取得等			
・以下の資格等を有する場合に、等級に応じて得点を与える。			
英語検定準2級以上、漢字検定準2級以上、数学検定準2級以上など			
○その他顕著なものとして評価できる場合に、得点を与える。			
第2志望			
普通科と理数科の間で、相互に第2志望を認める。			
その他			
なし			